

第4次総合計画第2期基本計画の策定に向けて提言書を提出

12月28日(水)、『第4次総合計画第2期基本計画』策定に向けた提言書が、同策定市民検討委員会の石井憲一委員長から上野市長に手渡されました。

石井委員長は、「計画の実施に当たっては、市民との協働を図りながら、効果的な施策の推進を図るようお願いしたい」と述べていました。

市民48人で構成された同委員会は、昨年2月15日から、『まちづくり』『育み』『クラスター』『住みよさ』『やさしさ』『環境生活』の6部会に分かれ、3回の市民検討委員会と26回の部会を開くなどして、論議を重ねながら提言書を作成しました。

この提言書には、少子高齢化社会を迎え『子育ての支援対策』や地域経済の活性化を図るために『活力に満ちた魅力ある産業づくり』、担い合うまちづくりを目指して『協働のまちづくりの推進』などが盛り込まれています。

市は、今年度中にこの提言書を踏まえながら基本計画を策定し、来年度から事業を進める予定です。

なお、提言書は市ホームページ (<http://www.city.noboribetsu.hokkaido.jp>) に掲載しています。



責任感を持って、今日から大人の仲間入り

～平成18年成人祭～



1月8日(日)、登別マリノパークニクスで『平成18年成人祭』が行われました。

今年の新成人は、男性422人、女性275人の計697人で、昨年より61人の減となり、式典には443人が参加しました。

式典は、市内在住のフェリックス・ゲバラさんのフォルクローレの演奏で幕を明け、梅田厚成人祭実行委員長のあいさつの後、上野市長が「社会の重要なメンバーとして責任、義務を果たしてください」と激励。続いて、新成人を代表し小林文博さんが「何事にも積極的に取り組みます」、佐々木有紗さんが「より良き市民となるよう努めます」と二十歳の誓いを述べました。

式典後、新成人は抽選会のアトラクションや久しぶりに再会した友人と和やかに旧交を温めていました。

日ごろの運動不足を解消しよう

～あきずにシェイプアップ～

1月6日(金)から3月31日(金)までの毎週金曜日、市民プール会議室で『あきずにシェイプアップ』が開かれています。

この事業は、市民の運動不足解消や健康づくりを目的に行われているもので、市民プールのトレーナーの指導のもと、高校生から60歳代までの参加者は心地よい汗を流していました。

市民プールで開催される事業はどれも人気が高く、この事業も申し込みから3日間で定員の20人が満員になる盛況ぶり。初回は開講式の後エアロビクス、2回目には有酸素運動を約15分ごとに休憩を取りながら無理をしない程度にシェイプアップが行われていました。参加者からは、「仕事が終わってからも健康づくりができる」と大変好評でした。

この後も筋力トレーニングなどが行われる予定です。

